

IV. 研修、資格・認定制度の紹介

1. 研修会

定期的に開催されている福祉用具等に関する研修会・展示会に関する情報を参考情報として整理しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止、延期又はオンライン開催となっています。令和3年度以降の開催状況については、各主催者のホームページ等で最新の情報を確認してください。（ホームページ URL は 2021 年 3 月 23 日時点の情報です）

福祉用具専門相談員研究大会	
共催：一般社団法人日本福祉用具供給協会／一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会	
概要	令和元年度に第1回福祉用具専門相談員研究大会が開催された（参加者約350名）。有識者による講演や、福祉用具専門相談員による具体的な取組事例の発表（口述、ポスター）等によるプログラムが構成されている。 第2回についても、令和3年6月に開催が予定されている。
対象者	全国の福祉用具専門相談員、等
実施時期	第2回 福祉用具専門相談員研究大会 2021年6月21日（月）11:00～17:40 会場：日本教育会館（一ツ橋ホール） ※オンライン併用
費用	※事前申込の場合 日福協、ふくせんいずれかの正会員および賛助会員：1名 3,000円（税込） 非会員：1名 5,000円（税込）
ホームページ URL	https://www.fukushiyogu.or.jp/topics/kenkyutaiikai/

国際福祉機器展 H.C.R（福祉機器 Web2020）	
主催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	
概要	例年は「国際福祉機器展 H.C.R」として開催され、福祉用具の展示やセミナー等を開催。令和2年度は「国際福祉機器展 H.C.R」を基盤にオンラインイベント「福祉機器 Web2020」を開催。最新の福祉機器や福祉関連情報、福祉機器や福祉・介護に関わる最新レポートを公開するとともに、Web上でセミナーを開催。 2021年についても11月に開催を予定している。
対象者	—
実施時期	会期：2021/11/10(水)～2021年11/13(金)
費用	閲覧・参加無料
ホームページ URL	https://www.hcr.or.jp/

バリアフリー2021 主催：社会福祉法人大阪府社会福祉協議会／テレビ大阪／テレビエクスプロ	
概要	西日本最大級の介護・福祉・医療・看護の総合展示会 地域包括ケアの推進にあたって、介護と医療の更なる連携が求められている。 2021 年についても、8 月に開催を予定している。
対象者	介護・福祉業界関係者及び一般
実施時期	会期：2021 年 8 月 25 日(水)～27 日(金)10：00～17：00 会場：インテックス大阪 ※2021 年度はオンライン展示会を同時開催 バリアフリー-ONLINE 2021 年 9 月 6 日(月)12:00～9 月 21 日(火)17:00
費用	無料(登録制) ※バリアフリー-ONLINE も同様
ホームページ URL	http://www.tvoe.co.jp/bmk/

福祉用具機器展 in さっぽろ 2020 事務局：社会福祉法人札幌市社会福祉協議会	
概要	2020 年度の開催は中止。2019 年度の開催においては、福祉機器の展示、セミナー等を実施。 2021 年については開催を予定している。(時期未定)
対象者	－
実施時期	例年、秋頃開催
費用	無料
ホームページ URL	https://www.sapporo-shakyo.or.jp/service/general_center/display_hall/20201106.html

第 22 回西日本国際福祉機器展 (Web) 主催：西日本国際福祉機器展実行委員会	
概要	福祉用具、福祉車両、住宅設備、福祉関連の機器、装置、システムが一堂に集う福祉の総合展。 2020 年は新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを考慮し、誰もが気軽にインターネット上で参加できるオンライン展示会として開催。
対象者	九州・山口地域の高齢者福祉に係わる施設関係者(介護専門職、施設管理等)や、福祉用具販売店、一般向け個人ユーザー
実施時期	配信期間：2020 年 10 月 15 日(木)～2021 年 2 月 12 日(金) ※例年、秋頃開催
費用	－
ホームページ URL	https://www.ppc-fukushi.net/exhibition/

第 24 回国際福祉健康産業展～ウェルフェア 2021～ 主催：名古屋国際見本市委員会/(公財)名古屋産業振興公社/(社福)名古屋市総合リハビリテーション 事業団	
概要	中部地区最大規模の福祉・健康産業に関する専門展示会。医療・福祉関連従事者が多数来場。多彩な講師陣によるビジネスセミナー等多数開講。 2021 年度の開催は中止。
対象者	—
実施時期	例年、春頃開催 会場：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）第 3 展示館
費用	無料
ホームページ URL	http://www.nagoya-trade-expo.jp/welfare/outline/index.html

福祉用具プランナー研究ネットワーク研究大会 主催：福祉用具プランナー研究ネットワーク（プラネット）	
概要	2015 年から毎年 1 回開催し、会員による研究発表が行われている。2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったが 2021 年は開催予定。
対象者	福祉用具プランナー
実施時期	夏～秋頃
費用	—
ホームページ URL	http://fukushiyougu-plannet.com/

介護ロボット地域フォーラム 主催：厚生労働省	
概要	厚生労働省が推進する介護ロボットの開発・普及促進の取り組みの一環として、全国 47 都道府県で開催されているもの。介護ロボットの活用事例や機器紹介を実施。2020 年度はコロナ禍であり、オンライン開催での実施。
対象者	介護事業者・介護現場で働く方、一般の方
実施時期	※開催地域ごとに異なるため、最新情報を確認してください
費用	無料
ホームページ URL	https://ws.seedplanning.co.jp/kaigo-robotforum2020/Homes/search_forum/controller:Homes

介護ロボット全国フォーラム 主催：厚生労働省（事務局：公益財団法人テクノエイド協会）	
概要	既に商品化あるいは、近々商品化を予定している介護ロボット等のデモンストレーションや厚生労働省と経済産業省が連携して行う介護ロボットに係る各種事業の進捗報告、先駆的な取組事例の紹介等を実施。
対象者	介護事業者・介護現場で働く方、行政、一般の方
実施時期	※2020 年度は 1 月 29 日オンライン配信
費用	無料
ホームページ URL	http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab40_detail

2. 資格・認定制度

当協会の調査結果から、福祉用具貸与事業者がキャリアアップ・人事制度に紐づけている資格・認定制度等について整理しました。資格・認定制度によっては、経験年数等により受講要件が決められているものもありますので、実施主体のホームページ等で最新の情報を確認してください。（ホームページ URL は 2021 年 3 月 23 日時点の情報です）

福祉用具選定士 (一般社団法人日本福祉用具供給協会)	
概要	福祉用具専門相談員の資質の向上を図り、利用者やケアマネジャーに対して適切な福祉用具の選定・利用に関する情報提供を行うことのできる、より専門性の高い福祉用具専門相談員を育成することを目的とした協会独自資格。
対象者	福祉用具専門相談員の資格を有し、 福祉用具専門相談員として 2 年以上の実務経験を有する方 。（保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士も含む）
資格取得までの流れ	協会独自のカリキュラムによる、「福祉用具選定士認定研修会」（A 研修ならびに B 研修）を受講し、それぞれの研修受講後に行う、筆記試験において合格された方が※認定される。 A 研修（ベッド・車いす編）3 日間 B 研修（歩行器、床ずれ防止、リフト編）2 日間研修
費用	※ A・B 研修合計費用 日福協会員：48,000 円(税込) 一般：56,000 円(税込)
ホームページ URL	https://fukushiyogu.or.jp/ginoushi/index.html

福祉用具専門相談員更新研修(ふくせん認定) (一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会)	
概要	一定の経験を有する福祉用具専門相談員が、「より専門的知識及び経験を有する福祉用具専門相談員」として、実践の場で専門性を発揮するために必要な知識・スキルを定期的に確認、習得、更新することを目的とし、能力維持と新たな知識のキャッチアップのため、3 年ごとの更新制の研修制度。
対象者	原則として、福祉用具専門相談員取得後、 3 年程度の福祉用具選定等の実務経験者 ・実務経験 福祉用具選定等の 3 年程度を有すること ・研修初日までに自身が担当した事例（福祉用具サービス計画書等）の提出が可能な方
資格取得までの流れ	講義、演習、修了評価を含む数日間の研修を受講（実施機関により受講日数が異なる）
費用	実施機関により異なる
ホームページ URL	http://www.zfssk.com/

福祉用具サービス計画作成 SV 養成研修 (一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会)	
概要	「福祉用具サービス計画作成ガイドライン」に基づいた、計画作成の意義や作成プロセス、作成の方法等の、指導方法について学習するとともに、後輩となる福祉用具専門相談員を育てるという観点から、「スーパービジョン」について学習するカリキュラムになっており、本研修の受講を通じ、「福祉用具専門相談員指定講習制度」の一部科目において講師を務めることができるようになる。
対象者	<研修の受講要件> ①日本福祉用具供給協会会員であること ②現在福祉用具専門相談員として従事していること ③ 実務経験が5年以上あること ④事業所の管理者の推薦があること ⑤講師依頼などに真摯に対応してくださる意思があること ⑥本会ウェブサイトで「氏名」「活動エリア」「所属」を公表することに同意すること
資格取得までの流れ	協会独自のカリキュラム（講義演習）を受講することで認定（2日間程度）
費用	—
ホームページ URL	https://www.zfssk.com/sp/1411_sv/index.html

福祉用具専門相談員の研修ポイント制度 (一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会)	
概要	福祉用具専門相談員がスキルを習得していく過程のうち、研修を受講した実績をポイントに換算して公表し、利用者や介護支援専門員等に、サービス選択の判断材料のひとつとして活用していただくことを想定した制度。 福祉用具専門相談員としてのキャリアパスと、それに基づく研修体系を提示することで、福祉用具専門相談員がスキルアップを図り、専門職としてのキャリアを形成することを支援するもの。
対象者	以下の全ての項目に該当する方。 ・福祉用具専門相談員の資格保持者として位置付けられている方（福祉用具専門相談員指定講習修了者／介護福祉士／義肢装具士／保健師／看護師／准看護師／理学療法士／作業療法士／社会福祉士） ・現在、福祉用具専門相談員として業務に従事している方 ・本制度のウェブサイト上で、氏名、会社名、研修ポイント実績等が公表されることに同意いただける方
資格取得までの流れ	本制度で認証されている研修を受講し、証明書類とともに事務局に申請すると、審査のうえ、ウェブサイトポイントが反映される。（原則 60 分に対して 1.0pt）。
費用	ふくせん会員の場合：初期登録料（初年度のみ）3,000 円
ホームページ URL	http://kensyu-point.zfssk.com/

福祉用具プランナー (公益財団法人テクノエイド協会)	
概要	福祉用具を必要とする高齢者や障害者に対し、必要な福祉用具の選定を援助、適切な使用計画を作成、利用の支援、及び適用状況をモニター・評価まで行うことのできる専門家として、公益財団法人テクノエイド協会が提唱したもの。
対象者	【受講資格条件】 ・指定福祉用具貸与事業所の福祉用具専門相談員として、その業務に従事している者又は従事した経験のある者 ・福祉用具関連業務に従事している又は従事した経験のある下記の者 保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士、介護支援専門員、建築士 ・その他、特に認定講習受講の有効性があると当協会が認める者
資格取得までの流れ	履修時間 100.5 時間のカリキュラム（認定試験 1.5 時間含む）を受講する。 「座学」(48.0 時間)については、「e ラーニング」による学習 「実技・演習・認定試験」(52.5 時間)については、集合講習とし、実施機関が定める期間内に集合講習のカリキュラムを履修
費用	e ラーニング受講料・福祉用具プランナーテキスト代 21,000 円 集合講習受講料：実施機関により異なる
ホームページ URL	https://www6.techno-aids.or.jp/html/planner.html

福祉用具プランナー管理指導者 (公益財団法人テクノエイド協会)	
概要	(1)福祉用具プランナーの更なる質の向上、(2)福祉用具プランナー研修の指導者(講師)養成、(3)福祉用具レンタル事業者等の管理者養成を目的とした福祉用具プランナーの上級的位置付けとしての資格。 【修了時に取得可能な他の資格】 いずれも試験等、条件を満たした方に交付 ・可搬型階段昇降機安全指導員(公益財団法人テクノエイド協会) ・リフトリーダー養成研修修了証(公益財団法人テクノエイド協会) ・車いす安全整備士(一般社団法人日本福祉用具評価センター)
対象者	福祉用具プランナーの資格を有する者
資格取得までの流れ	偶数年度に①、②を、奇数年度に③、④を実施予定。コース単位のみでも受講は可能。但し、管理指導者資格取得には4コース全ての履修が必須※各コースとも全過程の 80%以上の出席が修了条件となる。 ①起居移乗コース(48.0 時間) ③福祉用具工学コース(51.0 時間) ②車いすシーティングコース(49.5 時間) ④管理・指導コース (54.0 時間) 【社会人向け大学院での資格取得】 国際医療福祉大学大学院の修士課程による取得も可能 https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/health_welfare/shien/
費用	上記①～④各 85,000 円（税込）全コースを受講 340,000 円（税込）
ホームページ URL	http://www.techno-aids.or.jp/senmon/manager.shtml

福祉住環境コーディネーター 2 級※ (東京商工会議所)	
概要	高齢者や障がい者に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーとして、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身に付け、各種の専門職と連携をとりながら適切な福祉用具や住宅改修プランを提示することを目的とした資格。
対象者	学歴・年齢・性別・国籍による制限なし
資格取得までの流れ	マークシート方式 2 時間 100 点満点とし、70 点以上をもって合格
費用	6,600 円
ホームページ URL	https://www.kentei.org/fukushi/

※福祉住環境コーディネーター 2 級以上を取得していることで、介護保険による住宅改修を行う場合に必要となる理由書の作成が可能になります。

福祉住環境コーディネーター 1 級 (東京商工会議所)	
概要	高齢者や障害者に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーとして、医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身に付け、各種の専門職と連携をとりながら適切な福祉用具や住宅改修プランを提示することを目的とした資格。 記述式試験においては、実務能力（課題に対する提案力）などの、実践力、応用力、総合的判断力が問われる。
対象者	学歴・年齢・性別・国籍による制限なし 1 級は 2 級合格者のみ受験可能
資格取得までの流れ	制限時間はマークシート方式 2 時間（前半）・記述式 2 時間（後半） マークシート方式・記述式各 100 点満点とし、それぞれ 70 点以上をもって合格
費用	11,000 円
ホームページ URL	https://www.kentei.org/fukushi/guideline.html



福祉用具貸与・販売事業所
管理者のための人材育成のポイント

令和3年3月発行

発行者：一般社団法人日本福祉用具供給協会
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-15 三電舎ビル4F
TEL. 03-6721-5222(代表) FAX. 03-3434-3414

本事業は、令和2年度老人保健事業推進費等補助金の助成を受け行ったものです。